



成人式・平成29年1月4日

〈12月定例会〉

- 正副議長あいさつ 議員紹介 P2
- 議案審議 P4
- 一般質問（8人が登壇） P6
- 常任委員会報告 P15
- ようこそみなべ町へ P16

新議会スタート!!

平成28年10月2日に行われた町議会議員選挙において新人議員6人を含む14人の議員が選出されました。また10月27日の臨時議会（初議会）では、議長と副議長が互選により選ばれ、各委員会、各事務組合議会議員も決定し、新たな議会がスタートしました！

● 議長あいさつ



竹本 栄次 議長

昨年の町議会議員選挙で新しい議員が決まりました。
 新体制での議会議長選挙が行われ、結果、議長に就任することになりました。
 就任した際に、チーム議会と申し挨拶をしました。議員全員一丸となって、住民の立場になって議会活動は勿論のこと、執行機関に対する監視や提言など、議会の果たす役割の重要性を認識し、議員一同努力していかなければなりません。その議会をまとめていかなければならない、その職責の重さに身の引き締まる思いをします。
 住みよい町づくりの為に、議会にいろいろなご意見や要望を何卒よろしくお願いします。

● 副議長あいさつ



北谷 清治 副議長

この度、議員の皆様より副議長に選任をいただきました。
 微力ではありますが、議長を補佐し、円滑で公正な議会運営に努め、町政の発展と、町民の皆様への安全と安心の街づくりの為に、努めてまいりたいと考えております。
 今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

● 事務組合議会議員

● 御坊日高老人福祉施設事務組合議会（1名）	谷本 吉弘
● 日高広域消防事務組合議会（1名）	真造 賢二
● 田辺市周辺衛生施設組合議会（3名）	原田 覚 下村 勤 天野 仁
● 田辺周辺広域市町村圏組合議会（2名）	竹本 栄次 北谷 清治
● 公立紀南病院組合議会（2名）	竹本 栄次 北谷 清治
● 和歌山県後期高齢者医療広域連合議会（1名）	竹本 栄次
● 町監査委員（1名）	下村 勤

● 議員紹介 (議席順序で掲載)



谷本 吉弘

産業、教育、防災。明日のみなべ町のために精一杯頑張ります。



永井 幸喜

人の話をよく聞き、よく話し合い、良く考えて議員活動を行っていきます。



天野 仁

人口減少対策と、若者の定住促進を図るため、雇用の場の確保に取り組めればと。



井口 雅裕

ひとにやさしい町づくり、地域づくりを目指して頑張ります。



丸山 幸雄

出来る出来ないはありますが、町民の声に耳を傾け、町政に全力投球します。



池田 三千留

あたりまえのしあわせ、くらしがで、みなべ町に住みたいと思える町に！！



原田 覚

みなさんの声をかたちにすべく、1つ1つの課題に全力で取り組みます。



出口 晴夫

町民の皆さんの声を大切に誠実さと情熱で積極的な活動を展開していきます。



真造 賢二

皆さまの代弁者として議員の職責＝行政の監視＆住民ニーズの反映を全うします。



下村 勤

地方創生の推進と、安心・安全な町づくり、子育て環境の充実に取り組みます。



玉井 伸幸

幾度となくいただいた「期待」というお言葉を重く重く受け止めてまいります。



宮崎 繁幸

スポーツを通じて若者が安心して暮らせる町づくりを目指して頑張ります！

● 委員会構成

総務文教常任委員会 (7人)

町財政・町有財産・消防防災・社会福祉・健康保険・教育関係などの事務調査や請願審査を行います。

委員長 谷本 吉弘

副委員長 真造 賢二

井口 雅裕 池田 三千留 出口 晴夫
玉井 伸幸 竹本 栄次

産業建設常任委員会 (7人)

ゴミや環境・農林漁業・観光・都市計画・道路橋梁河川・災害・上下水道などの事務調査や請願審査を行います。

委員長 原田 覚

副委員長 下村 勤

永井 幸喜 天野 仁 丸山 幸雄
宮崎 繁幸 北谷 清治

議会運営委員会 (6人)

議会運営に必要なことを決定しています。

委員長 下村 勤

副委員長 谷本 吉弘

天野 仁 池田 三千留 原田 覚
真造 賢二

議会広報特別委員会 (6人)

議会広報として議会だよりを編集し、発行しています。

委員長 真造 賢二

副委員長 池田 三千留

谷本 吉弘 永井 幸喜 原田 覚
宮崎 繁幸

12月定例会

12月定例会は、12月15日から22日までの8日間の会期で開催されました。町長から提案された平成28年度一般会計補正予算などの議案14件を慎重審議し、いずれも可決しました。

一般質問では8人の議員が登壇し、活発な質問をしました。

主な議案審議Q&A

●職員勤務時間・休暇等に関する条例改正

Q 介護のための休暇申請を誰が認定するのか。

A 担当課長と十分に調整し、町長が許可。

●職員の給与に関する条例改正

Q 全体的に改正の内容がわかりにくい。もつと町民に分かりやすく説明を。

A 国の人事院勧告に基づき改正とすることで理解していただきたい。

●駅前駐車場の設置及び管理条例

Q JR利用を前提とせず、常時駐車した場合も良しとするのか。

A 基本的にはJR利用が前提。ただ駐車料金を払っていただく以上、一般利用者も可。ちなみに常時駐車した場合、月額換算9000円と近隣駐車場料金より高い金額を設定している。



南部駅前駐車場

Q 有料化で利用台数が減少し、想定維持管理が困難にならないか。

A 現在35台前後の利用実態がある。

Q 15〜20台前後の利用があれば維持管理費を賄える計算。

Q 障害者用スペースは無料化すべきでは。

A 基本的には、一般利用者と同一料金の予定。様子を見ながら無料化の検討も。

Q 防犯カメラ設置は。

A 機能等の問題があるが、一応設置の方向で検討。

●学童保育所設置条例改正

※南部小学校の学童保育所への申込が多く、既設の2ヶ所に対応が困難になったため、新たに学童保育所を開設する議案。

Q 元視聴覚室に開設。既設の2ヶ所も校内にあり、同様に問題はないと考える。

Q 上南部学童保育所は国の指針（1クラス40名）に照らし問題ないのか。増設が必要では。

A 来年度の申込み者数は最大47名。農繁期、夏休みはオーバーするが、通常の児童数は32名であり増設の必要はないと考える。

Q 全てホームページ上で予約できるように改善を。

A スポーツ合宿等、町民や町外の方々から予約しやすいように、今後研究を深めたい。

●体育施設設置及び管理の条例改正

Q 金額や場所が条例化されているが、予約等のルールも条例化して議会の審議を諮るべきでは。

A 教育委員会が定める規則委員会に任せていただきたい。

Q 校内に設置とのこと、教育環境として問題は。

校内に設置とのこと、教育環境として問題は。



梅の里カップ・ボルダリング大会

● 一般会計補正予算

防災拠点整備事業

Q 防災広場までの電柱の地中化は必要と思われるが。

A 補助金の対象になれば考えていきたい。今の所は検討課題と考えている。

Q 谷口地区の起点から終点まで4年間で終了になるのか。将来の構想は。

農業基盤整備事業

A 町道古川下の尾線は全長約600m。今回は第1期工事として220mが対象。将来的には谷口中央線集落を繋げる計画。

Q 谷口地区の起点から終点まで4年間で終了になるのか。将来の構想は。

A 町道古川下の尾線は全長約600m。今回は第1期工事として220mが対象。将来的には谷口中央線集落を繋げる計画。

Q 町外業者はマイナス評価からの参入となるが。

国民健康保険特別会計 補正予算

Q 社会保障費の不足分を繰越金から補正するとの事だが、将来的に町の財源等は、色々な給付金等での不足を補正

A 色々な給付金等での不足を補正

予算で上げている状態。国からの財源補助等を活用し、極力町民の負担にならないように進めていく。

第3回臨時会 (11月22日)

津波避難センター工事 請負契約

(1億9473万円)

総合評価方式による入札方法が審議ポイント

※ 総合評価方式とは、

工事金額のによる入札結果に評価項目(企業の施工能力、技術者の配置予定人数、地域貢献)の点数を加算して総合的に落札者を決定する方式。総合的に優れた調達が可能になる。

Q 町外業者はマイナス評価からの参入となるが。

A 地元業者の育成を目的として採用。

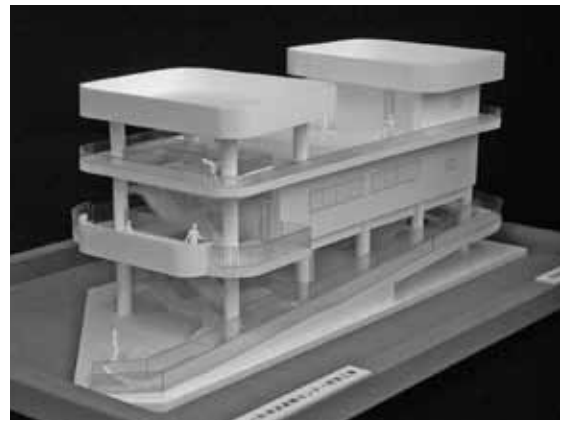
Q 町外業者はマイナス評価からの参入となるが。

A 地元業者の育成を目的として採用。

Q 今後どういう場合にこの総合評価方式を採用するのか。

A 町外業者が参加する指名競争入札で、予定価格が3000万円を超える工事において実施予定。

Q 体力的に劣る小学校在先だと思



津波避難センター (模型)

Q 加点の中

の配置予定

技術者、監

理技術者の

変更等は入

札後に認め

られるのか。

A 事前

の書類審査で決

定したもの

は基本的に

は変更できない。

ただし技術者の死亡

等の特殊な事情がある

場合は変更が可能。

Q どうしてガス仕

様なのか。

A 電気と初期投資

額、維持管理費

を総合比較し、ガスの

方が有利と判断した。

またガスなら災害時の

燃料の供給が可能。

れば現中学生は恩恵を受けられない。

特に南部中学校の設置箇所の安全性は大丈夫か。

A 基礎の上に浮遊

することのない

ような設備をする予定

南部中学校の場合、

電気は切り替える事も

含め実施設計の中で再

検討。

Q 南中体育館の空

調も改善が必要

では。

A ミスト設備で対

応を検討。

Q ガスは災害時に

タンクの浮揚等、

火災発生リスクが高

いと思うが。

Q 中学校3校へエアコン

導入

(2億2793万円)

体力的に劣る小

学校在先だと思

うが。

Q 体力的に劣る小学校在先だと思

A 体力的に劣る小学校在先だと思

Q 体力的に劣る小学校在先だと思

A 体力的に劣る小学校在先だと思



南部中学校

8 議員が一般質問

真造 賢二 議員

- ① 保育士臨時職員の待遇是正を
- ② ふるさと納税にポイント制導入を
- ③ 梅で健康のまち宣言の今後の具体策は

池田 三千留 議員

- ① 子育て支援のさらなる拡充について

原田 覚 議員

- ① 農業振興策について
世界農業遺産「みなべ・田辺梅システム」関連事業の
検証は
- ② 本町と南部高校との協同及び農業系大学等の誘致

丸山 幸雄 議員

- ① 安心・安全な町づくりについて

天野 仁 議員

- ① 人口減少について 町長と現状認識は共有できるか
- ② 高速に町独自の SA を設け梅商品等の販売拠点を

下村 勤 議員

- ① 構造改革について
- ② 高城小学校プールの改修について
- ③ 適正な職員数と時間外勤務について

玉井 伸幸 議員

- ① 避難所としての埴田医王寺について
- ② 災害時の緊急避難について

出口 晴夫 議員

- ① 鳥獣害対策の充実について
- ② 災害発生時の住民の安否確認手段の検討
- ③ 観光振興に向けた「梅食文化」発信拠点の創設



町政に
ここが聞きたい!

一般質問とは、本議会において議員が行政全般にわたり、町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来に対する方針などについて質問したり、あるいは報告、説明を求めたりすることをいいます。



しんぞう けんじ 議員
真造賢二

保育 保育所臨時職員の待遇是正を

➔ 給与見直しを検討、29年度予算に反映

質問 保育所臨時職員が半数以上という現状は、本来の臨時職員の在り方を逸脱していないか。彼女達なしには保育所運営が成り立っていない。

それにも関わらず低い給与で正職員同様の業務を課している。10年勤務した場合の年収は2倍の開きになるとのこと。また正職員への門戸も限りなく狭い。彼女達は「子供が好き」というモチベーションだけで日々頑張っている。この現状は余りにも理不尽では。大切な子供の命を預ける保育所がこのまま良いのでしょうか。政府の「同一労働同一賃金」推進の流れもある、みなべ町が模範的に待遇改善を。

休3人)です。国の基準数に対し9人多い保育士を配置しています。きめ細かな保育維持のため、臨時保育士さんに補充して頂いています。

その臨時保育士さんの給与は5年以上の勤務で時給1100円、ボーナス40日分、年収は約238万円です。臨時保育士さんが働き甲斐のある職場にすべく、できる範囲内で処遇改善を図っていきます。29年度から若干でも単価をあげる方向で検討しています。

針を固めつつ、職員数の適正配置に努めていきます。

再質問 町が定めた「職員数定員適正化計画」には「職員一人一人が意欲的に職務に専念できる組織体制の構築、適正化に取り組み」とある。この方針と現状とのかい離は大きい。

正職員を切望する臨時保育士さんの中には、十分な能力を有する方もいるはず。彼女達を正職員に登用する特別



枠を設けられないか。**町長** 様々な制約がありますが、正職員への登用枠の可能性を検討します。

また保育所に出向
財政 ふるさと納税にポイント制導入を
↓メリット、デメリットを検討
質問 ふるさと納税は【地域の応援】【町づくりの原資】【町の魅力発信】と正に地方創生に合致した取組。町のふるさと納税寄付額は2000万円に届く勢い。素晴らしい実績だが、この現状に甘んじることなく全国的に大きな成果を挙げている「ポイント制」を導入しては。ポイント制にすれば、フレキシブルに様々な商品や宿泊、体験等、魅力満載の返礼品が展開可能。町の活性化に大きく寄与できる。そのためには商工会

き、全保育士さん、職員に集まって頂いた中で、この問題を取り上げ、要望、勤務状況を把握し、反映して参ります。

が中心では限界、横断的な組織で推進を。
町長 今後とも様々な返礼品の拡充に努め、町の魅力発信をしていきます。ポイント制についてはメリット、デメリットを見極めながら検討します。
観光や体験は商工会だけでは困難でしょう、観光協会、森林組合、JA等を交えた横断的な組織で検討できればと考えています。

他の質問

●梅で健康のまち宣言の今後の具体的取組は

いけだみちる
池田三千留 議員



給食 子育て支援のさらなる拡充について

➡ みなべ町に住みたいと言ってもらえるような町づくりの一つの支援として..

質問 平成26年度から町内の小中学校において給食の完全実施となり、第3子以降の給食費が無料化されましたが、第1子が高校生以上の場合、第3子の給食費は無料とはならない。子育ての応援を目的とするならば第1子が高校生以上であつても子育ての大変さや負担は、変わらないのではないのでしょうか。

また、現在、給食費を滞納している世帯数と3人以上お子さんしている世帯数は。子育て支援充実にみなべ町の人口の直近の増減の状況は。

町長 3人以上のお子さんいる世帯255世帯(20歳未満)のうち150世帯(6歳から20歳未満)105世帯(就学前)。最近3人目も増えてきているのがわかる。0歳か

給食費を無償にしている市町村

※は2017年4月予定

北海道	木古内町	山梨県	早川町
	三笠市		丹波山村
	美瑛町	長野県	王滝村
	小清水町		売木村
	陸別町		平谷村
	上ノ国町	岐阜県	岐南町
	足寄町	滋賀県	長浜市
	浦幌町	京都府	伊根町
青森県	七戸町	奈良県	黒滝村
	六ヶ所村		上北山村
	南部町		野迫川村
	新郷村	和歌山県	高野町
宮城県	七ヶ宿町		北山村
秋田県	八郎潟町		古座川町
	東成瀬村	兵庫県	相生市
福島県	金山町	島根県	古賀町
栃木県	大田原市	広島県	神石高原町
群馬県	上野村	山口県	和木町
	神流町	佐賀県	太良町
	南牧村	熊本県	水上村
	嬌恋村		山江村
	みどり市※	宮崎県	諸塚村
埼玉県	滑川町	鹿児島県	宇検村
	小鹿野町		長島町※
東京都	利島村	沖縄県	嘉手納町
	御蔵島村		渡名喜村
	奥多摩町		多良間村
福井県	永平寺町		栗国村
			与那国町

ら18歳までの3人以上の世帯数は子育て支援施策が始まりだした平成26年度から若干増加している。

3人目以降の子育て応援事業の対象家庭を上のお子様の年齢を高校生までの18歳とするのか20歳とするのか、あるいは、幼稚園保育所等における3人目以降の無料化と同様に、年齢制限を撤廃するかは、教育委員会とも相談しながら検討を進めていきたい。

教育長 給食費の滞納

につきましましては現在平成26年度からの分で1件の世帯です。給食費は口座引き落としで保護者の方々のご理解により、順調に運営できている。

ただ、教育委員会としては学校教育環境の充実にも取り組んでいくところ、子育ての限られた財政の中で、子育て施策には優先順位をつけていく必要がある。給食費の支援の拡充の必要性を含めて、今後多角的に町当局と検討していきたい。

再質問

全国的には食育という観点から見ても給食費の無料化が進んでいます。近くでは古座川町が小学校の給食費無料化を実施しています。全国的な動きも含めて再度お願いしたいと思います。

町長 学校教育施設面はあらかじめ終わって環境面に力が入っている状況です。全校生徒の給食費を無料にしている市町村に比べれば3人目以降の無料化は可能と

思うが。即答は控えま

す。
教育長 給食費が無料になることは大変ありがたい。ただ、町税財政を考えたときに可能かどうか。子育て支援は、さまざまな面で必要だと思っております、各方面から検討していきたい。

再々質問

ホームページで検索しても今回の支援についても知りた

いとところになかなか辿りつけなかったが。
町長 分かりやすいホームページに改善していきたい。





はらだ さとる
原田 覚 議員

農業 農業振興策について

世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」関連事業の検証は

→ 専門部会に報告、推進協議会で検証

質問 世界農業遺産の活用戦略として、地域振興アクションプランを作成し、地方創生加速化交付金をうけて様々な事業が行なわれました。

今年行なわれた事業について検証は行なうのか。また誰がその検証をするのか。結果を町民の皆様へ報告していただき、次年度以降の事業に繋げていただきたい。

また現在の事務局の体制では、一部の職員だけに負担がかかり過ぎていて、県や田辺市と連携をとり強化を図るべきではないか。

町長 実施計画において、梅産業グローバル化計画の推進事業は、委託業者等の結果及び報告書等を専門部会

に報告し、ご意見を頂き、来年度、世界農業遺産推進協議会が検証を行います。

梅を核とした健康で元気に働けるまちづくり事業は、9月にまちひとしごと創生総合戦略推進会議で検証します。検証結果は、町HPや広報誌、現在作成中の専用サイトに掲載していきたい。

継続事業は、海外戦略など単年度では効果が見えない事業、情報発信や認定地域との交流など永年の事業を継続。また住民の意見



をいかした住民主体の事業を推進していきたい。

事務局体制は、理想として県・田辺市・本町それぞれの職員を派遣し事務所を構えられればと思います。県と田辺市とも相談したい。

再質問 検証報告は早くしていただきたい。町民の意見が来年度以降に反映できない。事務局体制は、うめ課と産業界の体制を見直してみたい。

町長 業者委託している部分もあり、業者と相談して中間報告という形で検討したい。

うめ課は梅に特化すべきという意見も踏まえ、各課の業務を見直し機構改革の部分で検討をすすめています。本年度で結論を出して新年度から職務にいかしたい。

農業 本町と南部高校との協同及び

農学部系大学等の誘致について

↓ 南部高校と協力し活性化

農学部は協同を模索

質問 南部高校では「食と農園科」という新学科がスタートします。

今後の地域産業を担う若者が、栽培、流通販売、新商品の開発、地域の活性化を学びます。本町と学校が協力し合い、それぞれの活性化に結び付けなければいけないと考えるが、町長のお考えは。

そして卒業後の地元で働く場の確保として、新たな企業の誘致ができませんか。また現在は大学の農学系学部の人気が高まっています。空き施設の有効活用も考え、世界農業遺産に認定されている本町に大学の農学部を誘致はできないか。

町長 今までに校長や県の教育長と相談する中で応援すると申し上げ、高校存続の意味も含め、協力しながら町の活性化を進めていきたい。

大学農学部の誘致は、過去に農学部設立の話があつた大学が頓挫した理由や、南部高校と大学の交流してきた部分について勉強していきたい。誘致できなければせめて、南部高校と大学農学部が協同できる部分を模索していきたい。



まる やま ゆき お
丸山幸雄 議員



防災

安心・安全なまちづくりについて



質問 1点目は、東吉田南道地内のこども園、防災広場に埴田、堺、猪之山に通じる道路の計画は。

2点目は、町民を守り犯罪を抑制する防犯カメラの設置を。

3点目は、防災減災で、一人の犠牲者も出さない強い決意を示す為にも防災課の設置を。

町長 1点目の件は、進めなくてはならない。埴田や堺へぬける道は、発表の段階でない。

2点目の防犯カメラについては、県の補助金を活用し、設置数を増やす。

3点目の防災課は、防災単体では小さな課となり、支障をきたす。

再質問

1点目の防災広場に有する山の道。4年半ほど前にも、その考えはあるとのことでした。財政や地権者との交渉も難しい点もあると思うが、計画

だければと思う。

2点目の防犯カメラは、各区長さんと相談して、設置をよろしくお願ひします。

3点目の防災課については、防災課にこだわるのではなく、防災に関する相談をどの課にすれば良いのか、わかりやすくする為にも町長が言われたように、総務課の中に防災企画を設置すれば町民にもわかりやすいのでは無いでしょうか。

防犯カメラは設置

町長 山の上の道は、発表できないが、概略の図面は出来ている。地権者と交渉が出来れば、実施計画が出来る。防犯カメラは、設置の方向で進めます。防災課につきましては、こういう時期なので、再度検討する。

**危機意識をもっていた
だく施策として防災手帳**

再々質問

1点目の山の上の道、2点目の防犯カメラについては、実施計画、財政計画等また、教えていただければ。

3点目の防災課について、町民が少しでも良くなればという思いで質問します。防災に関するニュースが毎日あります。このみなべ町において、あつてはならないことですが、あつたと想定した避難訓練も必要で、防災に対して町民にわかりやすく連絡していくことが大事だと思ふ。防災手帳を作つて、避難の大切さを知らせてはどうだろうか。

町長 山の上の道、防犯カメラ、中間報告も含め発表できる段階で発表する。

防犯カメラは、当初予算で幾らかお願ひする。

防災課は、町民にわかりやすい部分はある。総務課の中で、自主防災組織を通じてするが、検討する。防災手帳は、町民に危機意識をもつていただく施策として、前向きに検討する。



防犯カメラ



あまの ひとし
天野 仁 議員

産業 高速に町独自のSAを設け 梅商品等の販売拠点を

→ 制度的に困難 現SAの活用を

質問 先人の先見性産者の努力で「紀州みなべの南高梅」の全国的なブランド評価もあり、この度は世界農業遺産に認定頂きながらも地元産地での販売体制が整っていない。過去には国道42号線沿いやみなべインターの最終地点時代までは各梅加工会社もそうとう直接販売ができていた。観光バスや旅行者の車が立ち寄ってくれていました。今にち高速道路の南進に伴い通過の町となり恩恵が受けられなくなりまりました。

高速道路の制度から考えると厳しいことと思われるが、なんとか町独自のサービスエリアを設けることが出来れば豊富な梅商品の販売や色々研究されている梅料理専門のレストランも設けるなど、みなべならではの情報発信拠点になると思う。

あわせて隣接に海産物や農林産物の販売を併設すれば6次産業への手助けにもなるし雇用の場にもなる。

町長 以前にもお答えさせていただきましたが国の状況、高速での制度は変わっていないことを申しあげておきたい。みなべ町には日本一の梅のまちを全国に情報発信する施設として「うめ振興館」があります。平成9年に完成し、ここ数年利用者が増えているので「うめ振興館活用検討委員会」を設けて色々な話を進めてきている。

今回も印南のSAを見てきました。奥側一列一部にJAの梅も含め3社の商品1種類ずつしか置かれていませんでした。やはり「みなべ」のエリア内にSAがあれば梅屋業界の皆さん方の受け止め方も違ってくるのではなかろうかと思う。商品の並べ方も独自色が出せるし何といってもレジ袋が「みなべ」でないのが残念。お土産特産品は、その土地で買ってこそ価値があるのでは。



印南SA

町長 みなべ町でSAを持ってないのであれば、今あるSAの利用方法について検討していければと考えている。

人口 人口減少問題 町長と現状認識共有できるか
所得状況が良くなれば

質問 合併から10年経過、この間にも本町の人口は1割減少している。漁業地域でも20・30歳代は数名しかない。町民のほぼ半数をしめる農家も、次の世代を担う後継者を置いている家庭は3割にも満たない程である。わずかな商店も後継者は半分にも満たない状況と思われる。このままでは若者は町外・県外へと出て行ってしまふ。

何も対策を講じることなく過ごしてしまうと30、40年後には半分の人口になるとの試算もある。後継ぎの家業もあつても町内に留まってもらうには雇用の場の確保・企業誘致も視野に入れるべきと思うが。

国勢調査の結果、15歳未満は13.8%が県下で上から3番目、高齢者人口は30.2%で下から8番目。データに見るとまだ良い方の町であり希望的観測を持って、まちづくりに取り組んでいきたい。しかし徐々に減っており、食い止めるには各家庭の所得状況が保障されれば後継者は残る、後継者が残れば結婚して子供が生まれてくるのではと考えます。

企業誘致は、みなべ町に来てくれる企業があるのか、工場用地は確保できるのか、農地転用の問題等難しい。よって子育てなども含め総合的な施策で地域振興に力を注いでいきたいと考えている。

しもむら 下村 つとむ 勤 議員



組織 機構改革について

➔ 機構改革検討委員会を立上げ検討中

質問 平成19年当初議会で、合併後初めて町の機構改革の改正案が提出され可決されました。当初は、大変スリム化され職員数168人から27年度には134人と34人削減により9年経過した現在、年間人件費も約2億5千万円の経費の削減に繋がっています。



役場内の様子

しかし、その間には、職員による不祥事問題や、不適切な事務処理問題が発生してきました。更には、職員の時間外勤務も膨れ上がっています。こういったことを踏まえ町長はどのようにお考えですか。

業務を集約してきました。その間、指摘の職員による不祥事問題など管理監督が機能しなかったのは、行政改革の推進の名の下、行なってきた業務の集約や、人員整理の影響が関連したのかと反省をしています。

本年8月に行政の中心を担う職員10名を選び、機構改革検討委員会を立ち上げ現在骨子の提案を受けたところであります。それらを踏まえ検討してまいります。

再質問 現在の住民福祉課の事務を見たとき、非常に幅が広く事務そのものが輻輳していると思います。高齢者人口も増加傾向でもあり、2分すべきと思います。産業課と、うめ課の事務分掌も、町民には解りにくいところもあり見直す必要があると思います。

町長 大きくなりすぎた住民福祉課の分課は、高齢者福祉、介護保険それから障害者福祉、児童福祉の分野で非常に多岐にわたっていることも事実であり、今までの考えを改めて分課の方向で考えていきます。同時に、各課の事務分掌も見直していくたく思っています。時間外勤務についても、職員数の適正化を図っていきたく思います。

教育 高城小学校のプール改修について ↓問題は認識、新築方向で検討

質問 このプールは、昭和59年に設置され、町内では一番古く、平成15年頃からプールの水平が保たれなくなり、現在では17センチの傾斜になっています。又、近年では、老朽化した塗料が剥がれ、足に刺さることもあるそうです。早急な対策が必要であると思います。

するかは、決まっていますが、教育委員会や、学校とも相談していきます。塗料の剥がれについては、早急に対応したく思います。

町長 以前からの課題であり、改修に向けては今の場所でのいいのか、違う場所に移すかは検討していきたく思います。今のところはどうか。

この問題については、以前からの課題であり、多額の費用が発生します。傾斜が進んでいて、大変違和感があるプールであることこの認識はしています。現在、1部の補修に止めておいて、全面の新築改修という風な気持ちも持っています。学校教育環境を整えるためにも、町長部局とも折衝を重ねていきたく考えています。場所の設定については、学校の意見も聞きながら考えていきます。



高城小学校のプール

この問題については、以前からの課題であり、多額の費用が発生します。傾斜が進んでいて、大変違和感があるプールであることこの認識はしています。現在、1部の補修に止めておいて、全面の新築改修という風な気持ちも持っています。学校教育環境を整えるためにも、町長部局とも折衝を重ねていきたく考えています。場所の設定については、学校の意見も聞きながら考えていきます。

おはる ぐち 出口晴夫 議員



農業 鳥獣被害対策の充実について

➔ 現状にあった捕獲計画策定と対策を実施

質問 鳥獣被害で、高齢化に合わせて離農を検討する農家もあり、このままでは管内農業の衰退につながります。また、サル・イノシシの人里への出没により地域住民の身体への危険性が一段と高くなっています。こうした状況に、地域内で個体数を減らす捕獲対策を充実して頂きたい。

町長 現在、防護柵の設置に対して資材費の3分の2を助成する町・県の補助があります。また、捕獲に対する支援として、イノシシ・シカについては銃で1万5千円、ワナで1万円、またサルについては銃で3万円、ワナで2万円と上乘せしでの補助を実施しています。狩猟免許取得者は、町内外合わせて101名ですが、年々高齢化してきています。

昨年度の捕獲頭数は、計画を上回っています。が、被害が減少していません。町としても、防護柵への補助、銃猟従事者の確保、ワナ猟の推進、煙火を使った方法など従来の支援に加えて、人里に降りてこない対策として有用広葉樹林の植栽等も実施している。さらに、獲った肉の処分についても、今後、施設を検討する必要があると思います。

再質問 平成25年策定の鳥獣害防止計画の、被害予想額に比べて現状はどうなっているのか。特に、今後の計画策定は優先的に、シカの頭数を減らす事に重点を置いていただきたい。

町長 過去に県内で台湾サルを一掃した経過もあります。その技術をもつてすれば大抵のものは捕獲できると思います。しかし動物保護に関する法律もあり、日本固有の動植物は残さなければならず、獲り尽くすわけにはいきません。そこに葛藤がありますが、現状に合った計画に行きたい。

みなべ町鳥獣害防止計画 (平成27年度抜粋)

●イノシシ	計画	900頭
	実績	997頭
●シカ	計画	400頭
	実績	360頭
●サル	計画	120頭
	実績	32頭
●アライグマ	計画	100頭
	実績	75頭
●被害予想額	404.1万円	
●実際の被害額	524万円	
●有害鳥獣駆除従事者	90名 (町外11名を除く)	
●平均年齢	54.7歳	
(内 銃免許取得者)	35名	
●平均年齢	61.4歳	

術をもつてすれば大抵のものは捕獲できると思います。しかし動物保護に関する法律もあり、日本固有の動植物は残さなければならず、獲り尽くすわけにはいきません。そこに葛藤がありますが、現状に合った計画に行きたい。

だけの問題ではありません。県や近隣市町村、JAなど関係団体と連携する事が重要だと思っています。

うめ課長

被害額については、平成27年度で524万円です。

再々質問

私の感覚としては、実態はもっと多いのではないかと考えています。再度、精査して頂き積極的な計画にして頂きたい。また、行政区を超えての移動もあり、みなべ町

近隣市町村のエリアを超えて、取り組みのネットワークを作って行きたい。

防災 災害時の住民への安否確認手段は
質問 防災対策では、ハード面の対応が進む中で、今後は迅速に町民の安否確認ができる新たなシステムを検討する必要があります。と思うが、**町長** 住民の安否確認は非常に重要な問題だと思っています。西本庄自主防災会の訓練でも全戸訪問による訓練が実施されました。町職員にはメールによる参集・確認のシステムを導入していますが、機器の操作や個人情報への取扱いが問題です。

その他、迅速な情報把握にはドローンの検討も考えたい。まずは、自主防災会議の中で提案し、無線等による情報確認など財政面も考慮しながら可能なところから進めたい。
その他の質問
●梅文化発信拠点の創設について

総務文教常任委員会 活動報告

平成28年11月30日に那智勝浦町の土砂災害啓発センター、すさみ町避難ビルを産業建設常任委員会と合同で視察しました。



和歌山県土砂災害啓発センター

避難ビル視察

和歌山県土砂災害啓発センターは、平成23年9月の台風12号による紀伊半島大水害によって29名もの犠牲者を出した那智勝浦町に、県が設置したものです。過去に発生した甚大な土砂災害の記録を後世に伝えるとともに、土砂災害に関する研究または、防災、減災が学べる日本唯一の施設です。

町全体の8割が危険箇所指定されているなど、研究員のお話と寺本町長によるその当時の様子をお聞きしました。すさみ町は急傾斜の山と山の間で、48ヶ所の避難道と簡易備蓄倉庫を備えています。1ヶ所50万円の補助金を出して、各地区の自主防災組織が備蓄倉庫を管理しています。

すさみ町は急傾斜の山と山の間で、48ヶ所の避難道と簡易備蓄倉庫を備えています。1ヶ所50万円の補助金を出して、各地区の自主防災組織が備蓄倉庫を管理しています。

すさみ町避難ビルは、和歌山県が発表した南海トラフ巨大地震による津波想定をもとに平成28年9月に建てられました。海抜4.6mの所に鉄筋コンクリート3階建てで屋上面積150㎡、高さ11.4mで二次避難が可能です。みなべ町で29年度に完成する予定の、みなべ町津波避難センターとはほぼ同程度の建物です。



すさみ町避難ビル

みなべ町で29年度に完成する予定の、みなべ町津波避難センターとはほぼ同程度の建物です。私達みなべ町は、沿岸部は津波の危険があり、山間部においては土砂災害の危険と隣り合わせで生活しています。今後は、50年、100年後を見据えた防災を基軸とした安全安心な町づくりを目指したいと思います。皆様方のご協力よろしくお願ひします。

事務組合議会議員活動報告

●公立紀南病院組合事業会計決算審査特別委員会

- ・日時 平成28年11月2日
- ・場所 社会保険紀南病院
- ・出席 竹本議長

●紀南環境広域施設組合議会 平成28年第2回定例会

- ・日時 平成28年11月25日
- ・場所 田辺市ごみ処理場
- ・出席 竹本議長、北谷副議長

●日高広域消防事務組合議会 平成28年第3回定例会

- ・日時 平成28年12月6日
- ・場所 日高広域消防本部
- ・出席 真造議員

●田辺市周辺衛生施設組合議会

平成28年第2回定例会

- ・日時 平成28年11月24日
- ・場所 田辺市清浄館
- ・出席 原田議員、下村議員、天野議員

●御坊日高老人福祉施設事務組合議会

平成28年第4回定例会

- ・日時 平成28年12月6日
- ・場所 御坊日高老人福祉施設事務組合
- ・出席 谷本議員

☆お☆知☆ら☆せ☆

第2回 UME-1
グルメ甲子園in
梅の里みなべ 開催!!



今年は全国各地から34チームの応募がありました。

レシピ等の書類選考を通過した10校の高校生が、梅を使用した料理をふるまいます。

みなさんも高校生が考えた梅レシピ料理を食べてみよう!

日時 2月12日(日)
10:00~15:00

場所 みなべ町保健福祉センター特設会場



●議会や議会だよりへの意見や感想を募集しています。どんなことでもかまいません、議会事務局または提案箱までお寄せください。

みなべ町議会だより No.46
平成29年2月1日発行
発行 みなべ町議会
編集 議会広報特別委員会
〒645-0002
和歌山県日高郡みなべ町芝742
TEL 0739-72-1334
FAX 0739-72-1335

ようこそみなべ町へ

他市町出身のご主人、奥様、ご夫婦の紹介コーナーです



くましよ ともゆき かすみ
熊代 智行さん & 和美さんご夫婦

平成22年9月19日に結婚されました、熊代智行さん(田辺市出身)と和美さん(西本庄 旧姓:谷本)ご夫婦の紹介です。

Q みなべ町に住むことを決めたいきっかけは?

→共働きになるため、子どもが鍵っ子にならないように、妻の実家に近い場所がいいと思い、みなべ町に住むことを決めました。

(以下の質問へは町外出身の方にお答え頂きました)

Q みなべ町に暮らしてみて感じたことや持たれたイメージは?

→子ども医療費無料制度が0~18歳まであったり、こひつじランドでは地域の子どものさんや保護者の方と関わる機会が沢山あったり、自然を間近で触れることができたり、子育てにはとても良い環境だと思います。

Q 町での生活はどうか?

(楽しいエピソードもあったらお聞かせください。)

→町を歩いても知らない方でも頭を下げてください、みなさんとても温かく親切な方ばかりなのでごく生活しやすい町です。

Q 町に望むことはありますか?

→活気ある梅の町、そして子どもたちの教育の向上をのぞみます。

◎ご協力ありがとうございました。

編集後記

昨年、議員選挙があり、新たな議会がスタートしました。そして広報特別委員会の構成メンバーも大きく変わりました。

議会だよりは、住民の皆さまと議会・議員をつなぐ大切な「架け橋」です。そのために私たちは、議会の活動を正しく、分かりやすくお伝えすべく、取材、作文、レイアウト等の全てに責任をもって編集して参ります。

また新たな議会の出発にあたり、表紙デザインを縦型に一新しました。

広報特別委員会 委員長

真造 賢一